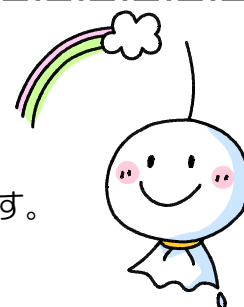




## 夏はどこに…？

青い空，照り付ける太陽，入道雲，夏休み突入！  
例年なら，そういう時季ですが，今年はまだ，梅雨明けもせず，すっかり調子がくるってしまいます。このちょっと涼しい天気は，まだ授業のある今年は，かえって良かったのかな？と考え直しています。



## 夏休みを迎えるに当たって（お願い）

例年より短い期間となりますが，いよいよ夏休みが目の前です。ご家庭でどこかに出かける機会があることでしょう。例年なら「思い切り楽しんで…」というところですが，今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため，様々な規制が行われています。

本校でも，県をまたぐような外出や宿泊を伴うお出かけの際には，その前後で体調を確かめる期間をとっていただくようお願いいたします。特に，帰宅から登校するまでには，体調を確かめて，整える期間として3～4日程度の余裕をとっていただけるようお願いいたします。

## 夏季における事故防止について

先週，つくば市の交通指導員をお迎えして，交通安全教室を行いました。低学年は，指導員の方から，主に安全な歩き方，横断歩道の渡り方について。中学年・高学年は，主に自転車の乗り方についてVTRを使って学びました。どんな内容だったか，どんなことを考えたか，ぜひご家庭でお話を聞いてください。そして，夏休みの過ごし方に生かしてください。

明日「夏休みの過ごし方」を配付します。その中でも触れています『茨城県青少年の健全育成に関する条例』では，午後11時から午前5時までの外出は保護者が同伴でも控えるよう求められています。規則正しい生活を送れるように声かけをお願いします。

さらに，子供たちが困ったときに親や友達，先生以外で相談できる相談窓口を知らせておくことも大切です。「夏休みのしおり」に紹介されています。子供たちの目に付く所に掲示しておくをお願いいたします。

## 携帯電話・インターネットの使い方

数年前に朝日新聞の社説に載った文章を紹介します。昨年と同じ時期に紹介しました。

日本教育学会が，情報化が子どもをどう変えるかをテーマに研究に取り組んだ。子どもが最初に出会う情報機器はテレビである。1歳にしかならない赤ちゃんの8割が，1日2時間以上もテレビの前にいる。一方的な強い刺激が，子どもたちの感受性を鈍らせる。ものごとを好きか嫌いだけで判断しがちになる。パソコンや携帯電話を手に入れた子どもたちは，自分だけの居心地のいい世界をつくり，そこにこもろうとする。こんなことがわかってきた。

人と人のつきあいは，やっかいなものだ。言葉だけでなく，相手の顔色を見て，声の調子を読み，けんかしたり和解したりしながら，関係を保っていく。今の子どもたちは，そういう体験を十分に積む前にネットの海にこぎ出していく。好きなときにかかわり，好きなときに一方的に切ることができる関係ばかりがふくらんでいくことに不安を感じないではられない。（中略）

子どもたちがパソコンに触れ，使うとき，メールやインターネットを楽しむルールについても学ばせたい。たとえば，名前を名乗って意見を言う。面と向かって言えることだけを言う，などだ。クラスでルールづくりに取り組むのもいい。

人は目で見たり，耳で聞いたり，においをかいだり，さわったり，味わったり，感覚を精いっぱい動員して外の世界とかかわり，心身を育てていく（後略）

現在，学校では，運営委員会を中心として子供たちが約束づくりを進めています。ご家庭では，どうなっていますか？